



# 2020東京パラリンピックを応援しよう!! ボッチャを知ろう!!

脳性マヒや重度の障がいのある人たち向けにヨーロッパで考案されたスポーツです。障がいの有無に関わらず楽しむことができるスポーツとして近年注目されています。

1988年から  
パラリンピック  
公式競技となりました!!

## ●ボール 白色のジャックボール

白色のジャックボールと  
青色・赤色のボールを使用します。



## ●国際大会では、障害の種類と程度により4クラスに分けられます。

- BC1 車椅子操作不可で四肢・体幹に重度のマヒがある選手  
下肢で車椅子操作可能で足蹴りで競技する選手
- BC2 上肢で車椅子操作がある程度可能な選手
- BC3 最重度の選手が該当する  
自力による投球ができないため、競技アシスタントによるサポートにてランプを使用し競技を行う
- BC4 頸髄損傷と筋ジストロフィーなど、BC1、BC2と同等の重度四肢機能障害がある選手

個人戦やチーム戦、  
ペア戦があります。



## ●ルール

6個ずつボールを使用します。



ジャックボール(白色)の  
ボールに近いボールを  
投げた側のみ得点が  
はいります。

1 先行側がジャックボール  
(白色のボール)を投げます。  
続けて自分のボールを投げます。

2 後攻側が最初の  
ボールを投げます。



3 ジャックボールからより遠い位置にボールを投げた側の選手がその次のボールを投げます。

4 赤・青ともに6球ずつ投げた時点で得点を計算します。

…その後、同じように赤ボールと青ボールを投げて戦い、点数をつけます。

1～4を1エンド。個人戦とペア戦は4エンド。チーム戦は6エンド行います。



●監修:加藤 啓太 重度障害者・株式会社KEI代表取締役社長  
 生後3ヶ月時、両腕足の麻痺に加え言語障害を負い、脳性麻痺の重度障害者となる。  
 障害者となってから10年間、厳しい訓練を行い、障害は1つの個性であると思うようになり、  
 「1%の可能性を信じれば実現する」チャレンジ精神を養う。  
 その後、やろうと決めた事に対し、できるまで諦めずやり続けて数々の成果を出している。  
 大学現役合格後、1人暮らしを続けた上で卒業し、ヘルパーステーションを開業  
 2005年から10年間、ボッチャ日本代表選手に選出  
 2012年 ロンドンパラリンピックに出場  
 2016年 電子書籍「1%の可能性を信じれば夢は叶う」出版  
 2018年 平成30年度人権擁護功労賞にて法務大臣表彰状・ユニバーサル社会賞を受賞  
 現在は、経営者として障害者宅へのヘルパー派遣業。  
 ボッチャは現在も現役プレイヤー、障害者スポーツを広める活動や夢を応援する講演を行っている。

### 関連リンク

- ◆株式会社KEI  
<http://own-your-life.jp/>
- ◆加藤啓太オフィシャルサイト  
<http://katou-keita.com/>

ブログ更新中!

新事業

# MAHAROの360°



2019年7月  
発行開始

facebook ホームページ(360°ページ) 印刷物(各100部限定)

## 人と自然と動物との共生を目指して 世界を360°から見渡してみよう!

新事業として2019年7月より毎月発行するミニコラムです。  
人と自然と動物に関する情報を毎月お届けします。  
福祉研究会MAHAROのキャラクターのマハロ君のイラスト付き!

ミニ共生  
コラム



このマークがある時は、監修を担当している宮崎由妃が世界で見た関連する写真をご紹介します♪



2019年7月  
発行開始

ホームページ(360°ページ)

## 犬と猫との共生を目指して 世界を360°から見渡してみよう!

こちらでも2019年7月より毎月発行するミニコラムです。  
犬と猫との暮らしに関する情報を毎月お届けします。  
こちらは、ホームページ360°のページでのみ読むことができます。

ミニ共生  
コラム

【監修】宮崎 由妃 社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士

- 1990年 生まれ。
- 2006年 ホームヘルパー2級を受講後、特別養護老人施設、障害児者通所施設、在宅介護の介護職員として勤務。医療的ケアやターミナルケアにも関わる。
- 2015年 イランをはじめとする中東地域の福祉施設を訪問したことをきっかけに、世界の福祉・医療的環境に興味を持つ。ブータンなどさまざまな国の支援活動に参加。現在も継続してソーシャルワーカーや医療職との情報交換や交流を行っている(福祉研究会 MAHARO GlobalNET 事業)これまで50カ国以上の国々を訪問。
- 2017年 国際地雷処理・地域復興支援の会 愛知支部長就任。



## Welfareスタディ

福祉研究会 MAHARO スタッフ限定研修

### 第4回 神山復生会 復生記念館見学

1886年、パリ外国宣教会のジェルマン・レジェ・テストウィド神父が宣教の中、一人のハンセン病患者と出会い、社会で放置された同病者の救済を思い立ち、御殿場の鮎沢村(現在の御殿場市新橋)に家屋を借用して6名の患者を収容したことから始まった。その後、神山に場所を移し、日本初のハンセン病の療養施設として多くの病者が治療生活を行う。1943年に開発されたプロミンによりハンセン病は不治の病から治る病になる。館長秋本さんが記念館を案内してくださいました。



### 第5回 尼崎 やさしさ集まる料理店

理学療法士の野瀬裕介さんが企画した「やさしさ集まる料理店」。注文した料理とは違っちゃったかも知れませんが、そんなの気にしない。皆んな一生懸命だもんね。ひとりひとりの優しさが寛容な空間を割り出し寛容な社会を創り出します。普段はデイサービスに通う利用者さんがこの日はホールスタッフ。注文を受けたり、料理を運んだり接客をしてくれました。なにより、素敵な笑顔に私達がパワーをもらい、美味しくいただきました。



作:とちみ

発行



福祉研究会  
MAHARO  
お問い合わせ

<http://maharo.org/>  
✉ earthstar@e-mail.jp ☎ 070-5253-1262